

Ⅱ 教育活動の概要

(1) 平成2年度カリキュラム運営

カリキュラム委員会

委員長 多田 敦

平成2年度のカリキュラム委員会は、生物環境、環境計画分野の委員が交代し、他の分野の委員は留年した。本年度の主な特徴は、昨年度に引き続き、環境科学特別講義Ⅳ・Ⅴを学内教官が担当し、これを学内に公開したこと(テーマ「地球温暖化とその影響」2単位10回)、環境科学特別講義Ⅵはユーゴスラビアから外国人教師 Ranko Radovic 先生を迎えて開講したことなどである。

1. 新入生ガイダンス

昨年とほぼ同様の方針で、以下のような日程で開催した。

ガイダンス日程表

	午 前	午 後
9日 (月)	入学式(10:00~10:26)	新入生ガイダンス(13:00~) C103 1. 研究科長挨拶 (13:00~) 2. 全体の概要と諸注意 3. カリキュラム関係の概要説明(13:30~) 4. 共通科目の概要説明 (14:00~) 5. 環境科学実習の説明 (14:15~) 6. 就職委員会の概要説明 (14:45~) <休憩10分> 7. 教職員の紹介(各自1分) (15:10~) 8. 新入生自己紹介(各自1分)
10日 (火)	分野別ガイダンス C103 自然環境(9:00~) [河村, 佐藤(正), 古藤田, 安仁屋, 松本(栄), 甲斐, 小林, 田瀬, <鈴木>] 生物環境(10:00~) [岩城, 高野, 藤伊, 藤井, 及川, 前田, 斉藤, 中村(徹), <腰塚>] 生産環境(11:00~) [大羽, 石塚, 多田, 臼井, 田中, 手塚, 東, 前川, 森下, 佐久間, 関, 久島, 松本(宏), <坂本>]	分野別ガイダンス C103 環境改善(13:00~) [中村(以), 藤木, 中原, 国府田, 下條, 佐藤(親), <島田>] 環境政策(14:00~) [河野, 中山, 北畠, 佐藤(俊), 安田, 吉川, <森島>] 環境計画(15:00~) [黒川, 梶, 池原, 谷村, 小出, 土肥, 天田, 糸賀, 岩崎, 石見, 熊谷, 小泉, 佐藤(洋), 田島, 日端, 石田, 田村, <渡辺>]
11日 (水)	2年生修士論文テーマ発表会 C103 (9:00~12:50, 13:30~15:30) 発表時間:一人3分(発表1分30秒, 質問1分30秒) 口頭により学籍番号順に発表する。	2年生ガイダンス<2年生> C103 (15:30~16:30) 1. 研究科長挨拶 2. カリキュラム・修論について 3. 就職について

2. 2年生の研究テーマ発表と研究計画の登録

標記事項は、4月11日(水)9:00~15:30に開催し、以下のとおりとりまとめられる。

なお、欠席者は、修論担当教官によって確認されたため、研究計画の登録が行われたものと認定した。

4月1日現在

在籍者	111名
(内 休学者)	1名)
発表者	97名
欠席	13名
欠席届及び修論計画書提出	10名
退学	1名
留年	2名
平成2年度研究計画登録者	107名

3. 環境科学Ⅰ・Ⅱ

共通必修科目である環境科学Ⅰ・Ⅱは、岩城教授・梶教授をそれぞれ世話人として以下のような内容で実施した。

平成2年度

「環境科学Ⅰ，Ⅱ」の授業計画

		環境科学Ⅰ	世話人 岩城英夫
	日	テーマ	担当
1)	4月16日	総論・生態系	岩城 英夫
2)	4月23日	大気環境	河村 武
3)	5月7日	地水環境	古藤田一雄
4)	5月14日	海洋環境	高野 健三
5)	5月21日	化学物質と環境	手塚敬裕・臼井健二
6)	5月28日	土壌環境	大羽 裕
7)	6月4日	陸域生態系(動物)	藤井 宏一
8)	6月12日	水域生態系	前田 修
9)	6月19日	環境と人間	下條 信弘
10)	6月27日	〈期末テスト〉	岩城 英夫

環境化学Ⅱ 世話人 梶 秀樹

—— 人間と環境との関わり ——

	日	テーマ	担当
1)	4月13日	国土と人間	小泉 允罔

2)	4月20日	災害への対応	天田 高白
3)	4月27日	資源としての環境	北島 能房
4)	5月11日	都市と農村	佐藤 洋平
5)	5月18日	緑と人間	糸賀 黎
6)	5月25日	環境と心理	田島 学
7)	6月1日	住いと環境	田端 康雄
8)	6月8日	空間と移動	石田 東生
9)	6月15日	都市の設備 1	谷村 秀彦
10)	6月22日	都市の設備 2	中村 以正

4. 修士論文中間発表

研究科全体の中間発表会を9月5日(水)9:00~15:30に開催した。以下のとおりまとめられる。分野別中間発表会は、9月~11月にわたり各分野で開催された。

在籍者	110名
(内 休学者)	3名)
発表者	98名
欠席	8名
論文提出しない者	1名

5. 環境科学特講

環境科学の最新の諸問題をトピックスしてとりあげる環境科学特講は、本年度はⅣ~Ⅵを開講した。特講Ⅳ、Ⅴは、「地球温暖化とその影響」として、学内の教官が担当した。特講Ⅵは、ユーゴスラビアのベオグラード大学建築学科の教授で、環境デザインが専門のRanko Radovic先生が講義を行った。Radovic先生は国際住宅・都市計画連合(IFHP)の会長でもあり、来日に際しては多くのスライドを持参し、講義ではスライドプロジェクターを2台使用して、世界各国の都市を紹介された。なお、世話人教官は、Ⅳ、Ⅴは及川助教授、安田助教授、Ⅵは黒川教授が当たった。

環境科学特講Ⅳ、Ⅴ 『地球温暖化とその影響』

テ ー マ	担当者	月 日
1. 地球環境問題に対する内外の組織的対応 — 学術会議のIGBPへの取り組みを中心として —	吉野 正敏	10月3日
2. 微量地球温暖化気体の動態 — メタン、亜酸化窒素、フロン光化学 —	手塚 敬裕	10月24日
3. 地球温暖化と大気環境	河村 武	10月31日

- | | | |
|-----------------------------|-------|--------|
| 4. 地球温暖化と水の環境 | 田瀬 則雄 | 11月7日 |
| 5. 地球温暖化に対する海洋の役割 | 高野 健三 | 11月14日 |
| 6. 地球温暖化と陸上生態系 | 及川 武久 | 11月21日 |
| 7. 地球温暖化と発展途上国 | 岩崎 駿介 | 11月28日 |
| 8. 地球温暖化の動物への影響 | 藤井 宏一 | 11月28日 |
| 9. 森林破壊と地球環境
— 熱帯林を中心に — | 熊崎 実 | 12月5日 |
| 10. 地球温暖化対策と経済成長 | 北畠 能房 | 12月12日 |
- この講義は上記の水曜日の4, 5時限目(14:10~16:55)に開講

環境科学特講Ⅵ

月 日	テ ー マ	担当教官
1) 12月7日	From Many Factors and Disciplines to the Integrated Built Environment	Ranko Radovic
12月14日		
12月21日		
1月18日		
1月25日		

6. 修士論文発表会

昨年度に引き続き、カリキュラム委員会が担当して、平成3年2月7, 8日の2日間にわたって、1人当たり16分(発表12分, 質疑4分)の発表会を行った。

在籍者	110名
休学者	3名
発表者	97名
留年者	9名
退学者	1名
修了者	97名